こもれび VOL.3

第3話 なにかよい方法はないかな

公園に近所のみんなと公おじさんが、集まって話をしています。

公おじさんが花とみどりの道づくりを実現するには、地域のみんなと十分な話し合いをすることと、実践経験者や区の担当者からアドバイスを受けることなどについて説明をしています。話を聞いていた人の中から、守おじさんが質問しました。

私たちがどうすればいいのか、もう少し具体的なことが聞きたいんだが・・・。

そうですね。先日の話し合いの中でも、ブロック塀や狭い庭、防犯上の問題が出ていましたね。皆さん、何かよい知恵はありませんか。

ブロック塀につたを這わせたらどうでしょう。色々な種類がありますよ。

なるほど、そういう方法もありますね。庭が広くない場合はどうでしょうか。

木の格子を立てて、そこに植木鉢をたくさん架けて飾っている家を見たことがあるよ。とってもきれいだったよ。

それはよい方法ですね。生垣にした場合の、防犯上のことも重要ですね。

道路側に花壇を作り、その後ろにフェンスを設けるとか、フェンスにつたを這わせてはどうでしょう。

みんなで考えれば、よいアイデアが出てくるものですね。今日はみどりの専門家のアドバイスをいただければと思いまして、練馬区の公園緑地課の花木（はなき）さんに来てもらっておりますのでご紹介します。

皆さんこんにちは、区で公園などを担当しております花木です。皆さんの取り組みと話し合いの様子は、公おじさんから聞いております。今日は皆さんの質問についてお話しましょう。

区の、みどりについての考えをお聞きしたいのですが。

私たちは、みなさんのご協力を頂いてみどり豊かなまちづくりを実現したいと考えております。その有効な方法の一つが生け垣化です。さきほどブロック塀の緑化の話が出ましたが、地震等で倒れる恐れがありますので取り壊して生け垣にされる例も多くありますよ。

そうすれば、歩く人にもみどりが目に入り、心豊かに散歩できますね。

生け垣化への区の支援策はあるのですか？

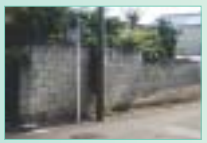
生け垣をつくる方に補助金を出していますし、ブロック塀を取り壊してつくる方には、その取り壊しに対しても補助金を受けることが出来ますよ。

ほかには？

地域の緑化を、町会や自治会単位で推進される場合、「みどりの推進協定」を区と結ぶと、その緑化に対して助成を受けることができます。

良いアドバイスを頂いたので、私たちでもっと話し合いをして見ませんか。

みんな：そうですね。よく話し合って出来ることから始めてみましょうよ。そうすれば伸ちゃんの夢が実現して、楽しいわがまちになって行きますね。


従前のブロック塀

生け垣にしてみどり豊かに

※区の支援策については練馬区公園緑地課（☎3993-1111）にお問い合わせください。

次回は「街（まち）づくりはあまり賛成ではないな」です。お楽しみに。

おもしろ風景館 Omosiro Fukeikan

ねりまでみつけた「動物注意」標識の不思議

大泉学園町9丁目 都立大泉中央公園

野生から都会派へ、変身上手なタヌキたちのいまどき交通事情

風たちぬ今は秋。野山が恋しい季節がやってきた。取材がてら、秋の風景など撮りたくて「都立大泉中央公園」へ出掛けてみた。このあたりは埼玉との県境で旧朝霞キャンプ、今は広大な自然公園になっている。越後山道りを走っていたら、ひときわ響音とした木立の傍らにめずらしい標識を発見。「動物注意」の文字とタヌキの絵。よく高速道路や山道で鹿や猿の警戒標識に出会うが、同じものだとしたら、こんな所になぜ？

ふしぎな標識の謎も、やがて公園内の噴水脇のタヌキの像を見てほんとうにいるのだと確信。管理事務所の方にタヌキのことを伺ったら、「捨てられたペットではなく里山からやってきた野生のタヌキが公園内に生息しており、夜行性で夜になると道路を横切る姿がよく見かけられるが、交通事故も多いので可哀想だ」とのこと。ドライバーへ速度厳守を促す「動物注意」の標識をあえて設置したのも、車のライトに立ちすくんでしまうタヌキたちを交通事故から守るためらしい。

公園内には餌となる木の実や昆虫や小動物も多く、野生のタヌキにとって都会も結構棲みやすい安住の地なのかもしれない。23区では唯一のこの「動物注意」標識が、これから都内のあちこちで目撃される日がくるのかもしれない。ドライバーの皆さん、夜道の走行にはくれぐれも注意して下さい。

●都立大泉中央公園
（大泉学園町９の４の３）

▶里山から都心へ進出するタヌキたち。野生動物は捕獲禁止のため都会派タヌキが急増しているという。

編◆集◆後◆記

「前、ここ何だったっけ？」新しいお店や建物ができるたびに思います。見ているようで、見過しているものも。「まちづくり」という言葉に出会ってから、いつもの道がちょっと違って見えるようになってきました。毎日通る道でも、いろんな発見があります。ちょっとしたことでも見つけると、妙に愛着がわいてくるから不思議です。

今号では「まちあるき」を特集しました。みなさんが、練馬区内を歩いて発見したことがあったら、ぜひ私たち「こもれび」編集室にも教えてください。

ようやく3号。まだ歩き始めたばかりの「こもれび」です。来年も、みなさんの声を聞きながら、がんばっていきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

㈶練馬区都市整備公社　こもれび編集室

新たな試みを続ける商店街

駅名に〝練馬〟とついているのに、駅自体は板橋区にあります。でも南口駅前はちゃんと練馬区。このあたりは旧下練馬村の北に位置することから北町と言われ、旧川越街道が通り、昔から宿場町として発展してきた歴史のある街。昭和40年代には生活に密着した商店街として大変にぎわっていたそう。

時代が変わっても、商店街ががんばっているところは変わらないようです。ちょっとおしゃれな街路灯やカラー舗装された歩道、買い物客用の駐車場を設けるなどの工夫がいろいろと。阿波踊りなどのイベントもやっているそうです。そうした商店街の活動から始まったボランティア活動が、NPOにまで発展したところがあるというので、行ってみました。

ひとを大切にする商店街の発想から生まれたNPO

NPO北町大家族の活動拠点となっている北町アートプラザ（1）で、代表の村上孝子さんにお話を伺いました。

「3年前、駅の北側に大型店ができたとき、営業時間や宣伝では張り合えないから、むしろ地域に恩返しようってことになったのよ。介護保険が始まった年だったし、いろいろと勉強して、〝いこいの家〟（ミニデイサービス事業）を作ったのね。そのうち（児童）虐待の話がでてきて、北町からだしたくないよね、って〝かるがも親子の家〟（地域育児支援事業）を作ったの。こういう活動も商店街だけじゃムリ。だから、町中を取り込んでNPOの活動にした。長い目で見て活動できればいいと思って」

月曜日と金曜日は65歳以上の高齢者を対象にした〝北町いこいの家〟。一ヶ月の予定表をみると、太極拳、カラオケ教室、映画鑑賞、うどん打ちなど盛りだくさん。「いろんな習い事ができるからいい」「気楽に話せる仲間ができた」と参加されている方は皆さん楽しんでいるようです。一人暮らしの方は「一日話さない日もあるから、こういうところがあってよかった」としみじみおっしゃっていました。火・水・木曜日は0～3歳のお子さんとお母さんを対象にした〝親子よろこびの広場事業（子ども未来財団の助成を機に事業拡大）〟。かるがも親子の家〟こちらは、来たった人に自由にすごしてもらう場。くつろいでおしゃべりをしたり、広い和室を子どもたちが走り回ったりしています。

スタッフの方は、「いこいの家でも、お茶を入れたり、それぞれの話を聞いたりしています。かるがもでも、私たちは見守るだけ。余計なことはしない。でも、相談がくれば全面に協力します。（参加者の人が）来てくれればそれだけでありがたいと思っています。」ということなので、地域に関係なく、気楽に参加できるようです。

やさしさにあふれたまちにして、たくさんの人にきてもらおう、という発想は、地域に根ざした商店街ならではのものですね。

たくさんの石仏は かつての宿場町の名残

次に、旧川越街道に並ぶ史跡を見に行きました。まずは、北町観音堂（2）へ。入り口をはの廃神塔の前を通り、仁王像の間を抜けると、区内最大の石仏、聖観音坐像がありました。

さらに東に行くと、浅間神社（3）が。ここには富士塚があります。富士塚は、富士山に似せて作られており、ここのほかに浅間神社のある高台に登ってたのと同じご利益があるといわれ、江戸時代には大勢の人が訪れたそうです。富士塚を途中には猿や天狗などの石仏があります。

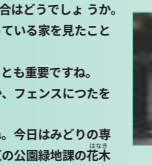
愛情のこもったケーキを作って35年の洋菓子店

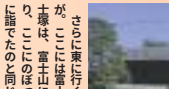
最後に洋菓子店、ローヤル（6）でお茶にしました。北町で開店して35年になるこのお店は、7年前に改装して、1階で洋菓子販売、2階でケーキや喫茶のほか、パスタやリゾットなどの食事もできるようになっています。ランチサービスの時間は、40席以上の席がいっぱいになるそう。

おみやげに、地域になんで作られた焼き菓子〝きたまちおとめ〟と〝きたまちチーちゃん〟を買いました。花のようにきれいに絞られたイートポテトの中には、栗がまるまる1個入っている〝きたまちおとめ〟は、さつまいもで有名な川越に通じる旧川越街道沿いにあることから考案。「ねりまの名品21」にも選ばれています。ふんわりとしたチーズのスフレケーキ〝きたまちチーちゃん〟は、洋菓子に奥様の名前をつけるヨーロッパのパティシエ（菓子職人）のように、奥様の愛称をつけて、「お客様が飽きないように、常に新商品を出すようにしています。とおっしゃるパティシエ蜂谷さんの作るオリジナルケーキは、どれも愛情がこもっているようです。

＊

練馬区では、北町地域と光が丘地域を結ぶバス〈北町ノ光が丘ルート〉の実験的な運行を検討しているとのこと。ほかの地域から北町にはかけやすくなり、まちが活性化できれば、商店街をはじめ、みなさん期待しているようです。


▶練馬区内に残る最大（台座も含めて高さ270㎝）の石仏、「聖観音坐像」。


▲浅間神社。左手に富士塚がある。

▲パティシエの蜂谷等さん（右から２番目）、奥様の智慧子さん（１番右）と、スタッフのみなさん

▲奥様の愛称のついた「きたまちチーちゃん」

▶北町いこいの家」の活動の様子。

▼健康相談する場も。

▼北町アートプラザ

❖ NPO法人　北町大家族 (1)
☎練馬区北町2-30-19　☎03-3931-0707
「北町いこいの家」（ミニデイサービス事業）
活動日：月・金曜日　10時～15時
対象：65歳以上　参加費：500円(昼食込み)
親子よろこびの広場「かるがも親子の家」
活動日：火・水・木曜日　10時～15時
対象：1～3歳児のお子さんとその母親
参加費：無料（一日参加する人は昼食をご持参ください）
※会場はいずれも北町アートプラザです。

▶NPO法人　北町大家族の（右から）大村さん、代表の村上さん、吉田さん

◀北町観音堂の入り口

▲左右におかれた仁王像

❖ 北町観音堂 (2)
☎練馬区北町2-38

下練馬の富士塚にあるいろんな石仏

◀浅間神社入口にある狛犬

▶浅間神社と下練馬の富士塚 (3)

❖ ローヤル洋菓子店 (6)
☎練馬区北町2-17-4
☎03-3931-2873
営業時間：9時～19時（喫茶は11時～）
休日：毎月第3日曜日
ケーキセット550円（ケーキ＋サラダ・ドリンク付き）750円？
ランチセット（スープ・サラダ・ドリンク付き）750円？

▲スイートポテトの中に栗1個入っている「きたまちおとめ」

◀食事もできる2階は40席以上あって、ゆったり。

インフォメーション 都市整備公社からのお知らせ

大泉学園駅南口の公共駐車場 大泉学園ゆめりあ南パーキング がオープン！

11月15日、待望の大泉学園駅南口の再開発ビル、**大泉学園ゆめりあ2**が完成、オープンとなりました。これにあわせて低層の施設棟の地下1・2階に、区の公共駐車場もオープンいたしました。駅にはデッキでつながっており、24時間営業、管理員も常駐していますので、とても便利で安心してご利用できます。駐車場の上の1～4階には、スーパーマーケットや色々な専門店が入っていますので、お買い物にも最適です。

北口の**大泉学園ゆめりあ北パーキング**とともも、皆様にご愛顧いただけるよう、従業員一同、サービスの向上に努めてまいります。皆様のご利用を心より待ちしております。

●利用方法：時間利用（15分・100円）
お得なプリペイドカードや回数券もあります。
●収容台数：242台
（大型車・ハイルーフ車専用42台）

問合せ　自動車駐車場事業係
☎3993-8011（平日午後5時まで）

練馬青果地方卸売市場のネーミング募集！

最優秀賞には、なんと賞金10万円（1名様）を贈呈

新鮮で安心、安全な野菜・果物を全国の生産地から皆様の食卓へお届けしている青果市場。平成15年4月、杉並分場と練馬分場が統合し、東京都練馬青果地方卸売市場として新しく生まれ変わります。

そこで、地域の皆様はもとより、都民や生産者の方々にも広く信頼され、愛される青果市場を目指して、愛称を募集いたします。

採用作品には**最優秀賞として1名様に賞金10万円**を、また、その他の応募者の中から**抽選で30名様に「旬のくだもの」をプレゼント**いたします。

●応募資格
練馬区・杉並区にお住まいの方、及び淀橋市場本分場の取引関係業者の方

●応募方法
官製ハガキに、
①愛称名（簡単な説明）
②郵便番号、住所
③氏名（ふりがな）
④年齢・性別
⑤電話番号
⑥応募日を記入の上、
ご応募下さい。（市場関係の方は、各組合備付けの用紙に記入し、投函箱の利用も可能です）

●応募先　〒169-0074
新宿区北新宿4の2の1
東京新宿青果株式会社　管理部総務課あて

●応募締切
平成14年12月31日

●採用決定および抽選日
平成15年1月末頃
※応募作品は返却いたしません。また、採用作品の著作権は当方に帰属します。

問合せ　☎3366-6111総務課

▲所在地　練馬区高野台2-1-18